

2009年度

科目名	教科教育法特論			
担当教員	竹本 封由之進			
配当	教福3		コード	25160
開期	後期	講時	火曜日5限	単位数
授業テーマ	図画工作科指導の探求			
目的と概要	子どもにとって「本当に楽しい」と思える図画工作科の指導法をともに探求します。「本当に楽しい」は「遊び」の精神であり、「自主→集中→継続→成就→発展」の道筋の中で、工夫や学びが生まれる姿です。子どもが「本当に楽しい」と思える授業をするためには、指導者はどうすればいいのか、実際に集まったメンバーで追究していきます。指導案作成、準備、場の設定、導入、指導・支援、鑑賞、評価という実際の授業における指導者の活動を通して、各自の指導者としての資質・能力を高め、プロ教師としての基礎になればと期待します。			
成績評価法	・主に、・演習の様子・提出レポート・自己評価などによって総合的に評価する。			
テキスト	必要に応じてテキスト・資料を紹介する。			
参考書	小学校学習指導要領図画工作科編解説 文部科学省			
履修に当たっての注意・助言	授業の特性より、人数制限(40名以内)を行います。詳しくは教務課の掲示を見てください。本科目を履修した場合、毎回のレポートと一人1回以上の授業演習が課題となります。また、それに伴う必要経費(材料費)の徴収もあることを了承してください。			
講義計画				
回	表題	実技・実習の内容	備考	
1	ディスカッション	教育実習を振り返って	グループ分け	
2	図画工作科の指導(講義)	指導案作成	示範授業	
3	低学年「A表現」①	「絵や立体に表す」		
4	低学年「A表現」②	「つくりたいものをつくる」		
5	低学年「A表現」②	「材料を基にした活動」		
6	中学年「A表現」①	「絵や立体に表す」		
7	中学年「A表現」②	「つくりたいものをつくる」		
8	中学年「A表現」②	「材料を基にした活動」		
9	高学年「A表現」①	「絵や立体に表す」		
10	高学年「A表現」②	「つくりたいものをつくる」		
11	高学年「A表現」②	「材料を基にした活動」		
12	低学年「B鑑賞」	「鑑賞」(各自の表現から)		
13	中学年「B鑑賞」	「鑑賞」(身近な表現から)		
14	高学年「B鑑賞」	「鑑賞」(芸術作品から)		
15	まとめ(講義)	評価票完成	評価票提出	